

Mizuho Daily Market Report

2024/9/9

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	142.46	142.30	▲1.15	▲3.87
EUR	1.1114	1.1084	▲0.0027	+0.0036
AUD	0.6734	0.6671	▲0.0070	▲0.0094
SGD	1.2981	1.3027	+0.0026	▲0.0040
CNY	7.0853	7.0980	+0.0093	+0.0067
MYR	4.3290	4.3302	▲0.0078	+0.0097
THB	33.57	33.52	▲0.14	▲0.34
IDR	15376	15365	▲33	▲90
PHP	55.92	55.92	▲0.31	▲0.22
INR	83.94	83.95	▲0.03	+0.08
VND	24635	24615	▲128	▲260

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.708%	▲1.9 bp	▲19.5 bp
日本(10年)	0.854%	▲2.6 bp	▲4.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.172%	▲3.6 bp	▲12.7 bp
オーストラリア(5年)	3.521%	▲4.3 bp	▲7.3 bp
シンガポール(5年)	2.409%	▲5.3 bp	▲11.9 bp
中国(5年)	1.769%	▲0.2 bp	▲8.9 bp
マレーシア(5年)	3.491%	▲0.2 bp	▲0.9 bp
タイ(5年)	2.281%	▲0.6 bp	▲0.1 bp
インドネシア(5年)	6.507%	▲2.8 bp	▲2.0 bp
フィリピン(5年)	5.915%	▲2.4 bp	▲2.7 bp
インド(5年)	6.753%	▲0.6 bp	▲1.8 bp
ベトナム(5年)	2.100%	+0.0 bp	+1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	40,345.41	▲1.0%	▲2.9%
N225(日本)	36,391.47	▲0.7%	▲5.8%
STOXX50(ユーロ圏)	4,738.06	▲1.6%	▲4.4%
ASX(オーストラリア)	4,467.47	▲0.8%	▲2.4%
FTSE(シンガポール)	3,454.47	▲0.1%	+0.3%
SSEC(中国)	2,765.81	▲0.8%	▲2.7%
SENSEX(インド)	81,183.93	▲1.2%	▲1.4%
JKSE(インドネシア)	7,721.85	+0.5%	+0.7%
KLSE(マレーシア)	1,653.12	▲0.7%	▲1.5%
PSE(フィリピン)	6,936.09	+0.4%	+0.6%
SETI(タイ)	1,427.64	+1.7%	+5.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,273.96	+0.5%	▲0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	266.86	▲1.6%	▲3.7%
金	2,497.41	▲0.8%	▲0.2%
原油(WTI)	67.67	▲2.1%	▲8.0%
銅	8,875.52	▲1.1%	▲2.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	141.60	—	144.80
EUR/USD	1.0930	—	1.1250
AUD/USD	0.6650	—	0.6850
USD/SGD	1.2960	—	1.3180
USD/CNY	7.0810	—	7.1190
USD/INR	4.3000	—	4.3930
USD/THB	33.30	—	34.15
USD/IDR	15350	—	15750
USD/PHP	55.90	—	57.00
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は143円台前半でオープン。海外時間に控える米8月雇用統計の結果次第では9月FOMCにおいて50bpの利下げをするとの見方もある中、米短期金利が低下しドル円も下落。指標発表を前に押し目買いも入りづらく、ドル円は下落基調が継続し142円台前半でロンドンに渡った。アジア通貨は全般的に上昇。米金利の低下を背景にドル売りが進む中、アジア通貨は対ドルで底堅い推移となった。

海外市場のドル円は143円台前半でNYオープン。NY時間朝方に発表された注目の米8月非農業部門雇用者数が予想を下回り、前回分の結果も下方修正された一方、平均時給(前月比)は予想を上回り、失業率も予想通りの結果となる。強弱混合な内容を受け、発表直後は141円台後半と144円台前半の間を乱高下した後、143円台後半まで反発。しかし、続いてウォラーFRB理事が年内の大幅利下げの可能性を否定しなかった姿勢を受け、米金利が再度低下する動きが重しとなり、ドル円も141円台後半まで値を下げる神経質な値動きが続く。その後は再び142円台前半付近まで買い戻されると、方向感に乏しい推移が続き142円台前半でクロスした。

【金利】

先週金曜日の米金利は低下。注目された米8月雇用統計は強弱入り混じる結果となったが、発表後に米10年債利回りは一時2023年6月以来の低水準まで低下。その後は低下幅を縮小する展開となり米10年債利回りは前日比▲1.9bpでクロスした。

【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。先週金曜日の米8月雇用統計の結果はまちまちであり9月FOMCにおける利下げ幅を決定づける内容とはならなかったものの、FOMCまでに発表される経済指標の結果次第では50bp利下げの可能性も排除されてはいないことを踏まえるとドル買いの動きは控えられやすいと予想。

【本日の予定】

(日本) 2Q GDP(確)
(日本) 7月 国際収支: 経常収支
(日本) 8月 景気ウォッチャー調査
(日本) 8月 銀行貸出動向
(アジア) 8月 インドネシア 消費者信頼感指数
(アジア) 8月 タイ 消費者景気信頼感
(アジア) 8月 中国 CPI / PPI
(アジア) 8月 中国 新規人民元建て融資 / 資金調達総額
(欧州) 9月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感
(米国) 7月 卸売在庫(確) / 卸売売上高
(米国) 7月 消費者信用残高
(米国) 8月 NY連銀1年インフレ期待

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。